

# 本業でSDGsの達成に貢献する 社員共育をめざして

報告者：愛媛県中小企業家同友会環境経営委員長  
株式会社平野 取締役会長 平野啓三



# 株式会社平野 概要

創業 : 1980年  
資本金 : 3000万円  
社員数 : 薬剤師17名、管理栄養士4名  
登録販売者10名、事務3名



事業内容: 保険調剤、一般用医薬品販売  
健康支援



愛媛県今治市内に7薬局

平野薬局HP

: <https://www.hirano-pharmacy.co.jp/index.html>

保険調剤 &  平野薬局

 平野みらい薬局  
Hirano Mirai Pharmacy



# 今回の報告でお伝えしたいこと

- ▶ Eco検定の全社員受験が、ESDのベースに
- ▶ EA21取得 何故、薬局が？  
地球のみらい&健康なみらい
- ▶ 経営理念とSDGs  
本業(G3)を深掘りし、関連するゴールに広げる



# 経営指針とは

- ▶ **理念・方針・計画・10年ビジョン**
- ▶ 1991年成文化以降毎年更新
- ▶ **年3回全社員で到達点をチェック、討議**
- ▶ 7薬局・7委員会実行計画、個人目標  
SDGsのアイコン紐づけ
- ▶ 労働環境の10年ビジョン BCP
- ▶ 社員共育委員会 環境委員会

# 環境方針の位置づけ

- ▶ **経営理念** 「私達は**常に学習に努め**、社員満足と資質向上を原動力に、今治の地に根を張った薬局業務を創造発展させ、地域の皆様のQuality of Life(生活～**生命の質**)の向上に貢献します。
- ▶ **経営方針** 「エネルギーシフトが新しい経済社会を作る」の理念のもと、エネルギーシフトで仕事づくり、地域づくりを目指します。**薬局**の特性を生かし地域住民の**環境改善**のための**情報提供や相談に乗れる人材の育成**に努めます」
- ▶ **10年ビジョン** 「私たちはこれまでの薬局業務にとらわれず、地域に合った**新しい価値を生み出す平野みらい薬局**として挑戦し続けます」

# 環境経営取組みの経緯

- 2009年 経営指針に環境に取組むこと明記
- 2010年 社内に環境委員会 社員全員Eco検定受験  
EA21準備
- 2011年3月11日 **東日本大震災 原発事故**
- 2012年 新規薬局に太陽光パネル設置
- 2013年 EA21認証取得
- 2015年 事業承継 10年ビジョン作成
- 2016年 Eco検定アワードユニット部門優秀賞
- 2020年 「環境ひとづくり企業大賞2019」  
中小企業区分 優秀賞受賞

# 社員全員がEco検定の合格をめざす

- ▶ 2010年 社員全員で受験
- ▶ 求人面接時、Eco検定受験を確約
- ▶ 2016年 Eco検定アワードユニット部門優秀賞
- ▶ 2019年 社員全員(再) 受験
- ▶ Eco検SEEKER 18名登録



# SDGs取組みの経緯

- 2018年 6月 **SDGs**を知り学習(2030アジェンダ)  
9月 経営指針に**SDGs**明記 業務紐づけ(新入社員担当)
- 2019年 5月 CLT/GEOパワー「平野みらい薬局」開局  
6月 **地域ESD活動推進拠点に登録**  
9月 中同協欧州**SDGs**視察研修に参加
- 2020年 2月 えひめ消費者志向おもいやり自主宣言  
3月 健康優良法人2020  
環境人づくり企業大賞中小企業部門優秀賞  
8月 3薬局に太陽光パネル設置 REアクション宣言準備

# 『我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ』全文を読む

- ▶ **前文** このアジェンダは、人間・地球・繁栄のための行動計画である。・
- ▶ 1-53 宣言
  - 4(**誰一人取り残さない**)、7-9(目指すべき世界像)、14(直面する課題)
  - 15(チャンス)、31,32(気候変動)
  - 50(新アジェンダの意義) 我々は、貧困を終わらせることに成功する最初の世代になり得る。
  - 同時に、**地球を救う機会を持つ最後の世代になるかもしれない**
- ▶ 53(結語)
- ▶ **54-59** **SDGs17の目標と169のターゲット**
- ▶ 60-71 実施手段とグローバル・パートナーシップ
  - 67(民間企業活動) 課題解決のためのイノベーション
- ▶ 72-91(結語)

# 社員共育の考え方の基本

① **ユネスコ学習権宣言**～社員の学習権を尊重

② 教え諭す教育から、**めだかの学校**

「共に学び・共に育つ」社員共育へ

③ 経営指針の実践を通しての**社員共育**とする

④ **学習する組織をめざす**

経営者：率先して学び、社員が学ぶための  
環境を整備する

社員：能動的に学び、自律する社員めざす

# 本業(健康支援) とSDG3

## ▶地球の健康

**企業活動地球へ負荷、温暖化の加害者**

## ▶理念：生活の質(QOL)の向上に貢献

**生命の質～生活の質**

## ▶薬局・薬剤師の専門性

**多剤服用による健康への害の予防**

**廃棄薬減 耐性菌防止**

# 39期経営指針とSDGs

**環境宣言** 平野薬局は・・・ESD活動推進拠点としての役割を担い・・・SDGsの掲げる現代社会の課題を自らの問題として捉え、環境活動に紐づけて身近なところから行動し(Think Globally Act Locality)、持続可能な社会の実現に貢献します。

**39期経営計画** 健康で環境に優しい暮らしの提案と実践に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献します。SDGsを見える化し、社内外への浸透を図る。

- ▶ 環境委員会方針
- ▶ 環境事業部方針
- ▶ 社員個人目標 17ゴール紐づけ

# SDGs **ゴール3** と13のターゲット

ゴール3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

| No. | ターゲット   |
|-----|---|
| 3.1 | 妊産婦の健康  |
| 3.1 | 新生児・乳幼児の健康  |
| 3.3 | <b>感染症への対処</b> <b>新型コロナ</b>                               |
| 3.4 | 若年者の精神保健&福祉促進   |
| 3.5 | <b>薬物・アルコール乱用防止</b>                                       |
| 3.6 | 交通事故防止  |
| 3.7 | 性と生殖の保健サービス   |
| 3.8 | <b>ワクチン接種</b> <b>UHCに貢献</b>                               |
| 3.9 | <b>有害化学物質、大気、水質、土壌汚染による死亡、疾病の予防</b>                       |
| 3.a | <b>たばこの規制</b> <b>禁煙相談</b>                                 |
| 3.b | <b>感染性</b> および非感染性疾患の <b>ワクチン</b> および <b>医薬品の研究開発</b> の支援 |
| 3.c | 保健財政、保健従事者の採用、能力開発・訓練および定着の大幅拡大                           |
| 3.d | 健康リスクの早期警告、リスク緩和およびリスク管理能力の強化                             |

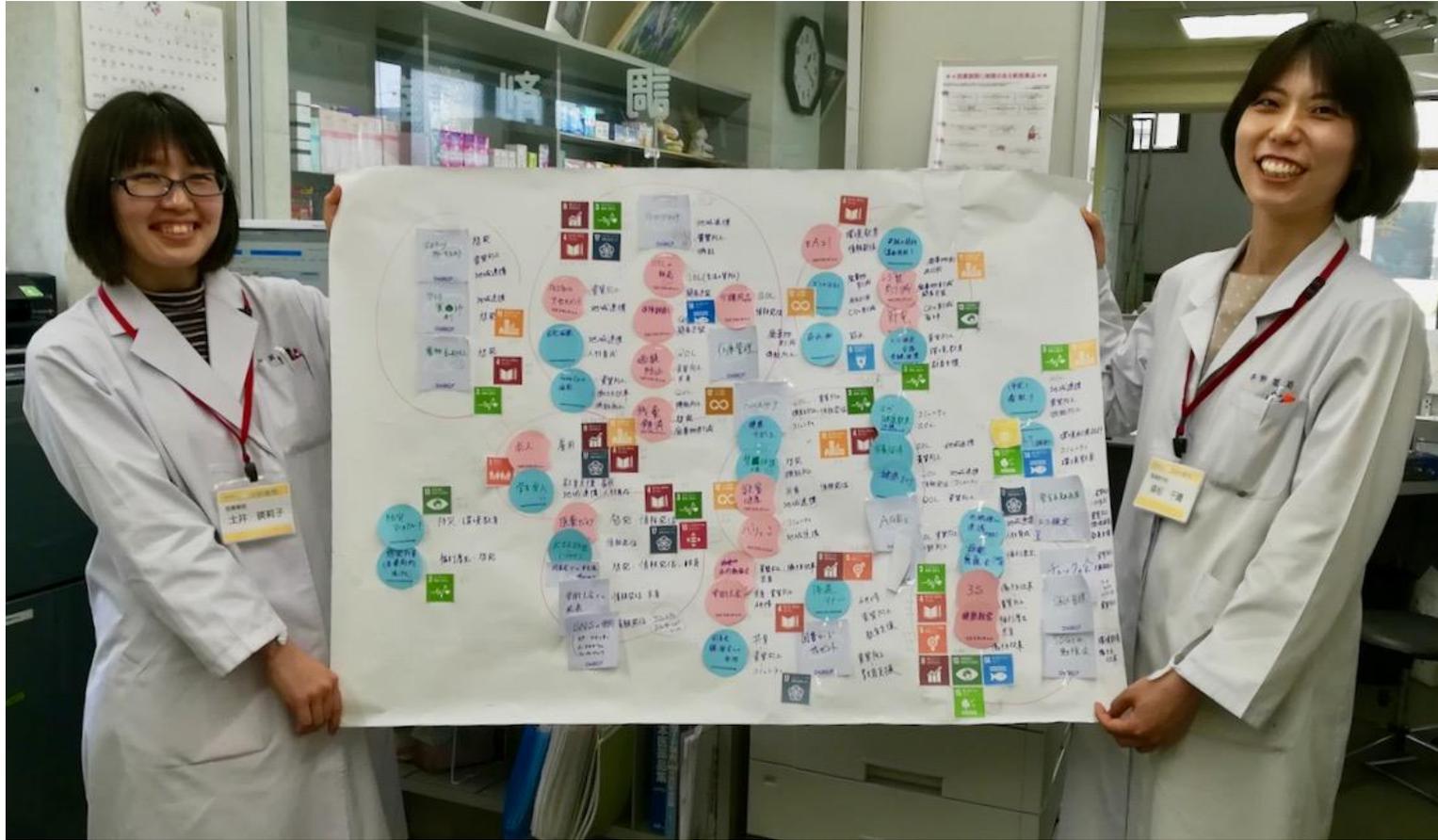
# ～本業から関連するゴールへ～

- ▶ **G3**  **本業 保険調剤&ヘルスケア 健康支援**
- ▶ **G4**  **学習型企业 ESD活動 インターンシップ**
- ▶ **G5**  **女性の能力強化 ジェンダー平等促進**
- ▶ **G7**  **太陽光発電自家消費 REアクション宣言**
- ▶ **G8**  **ディーセントワーク 健康経営**
- ▶ **G11**  **地域のステークホルダーと協力 街づくり**
- ▶ **G17**  **ネットワーク(今治・愛媛・四国) 同友会**

# 平野薬局の業務紐付け (社内での取り組み)



# 私たちがやりました！



新入社員がSDGs担当となり、彼女たちが中心となってゼロから学びながら紐付け。経営指針の会で彼女が全社員にSDGs説明。

# 社内のいろいろな場所にアイコン



- ▶ ぜひみなさんも社員さんとやってみてください。意識と行動が変わります！

# SDGs勉強会（親子の部）



# めざせプラなし生活!

～プラスチックを減らす、なるべく使わないシンプルで豊かな暮らし～  
ビーチクリーン&プラスチック・フリーのすすめ



海のプラごみ問題。なんとかしたい!

クジラやイルカのお腹から大量に出てくるなど深刻な事態となっています。  
そこで今回ビーチクリーンやお話を通してプラスチックの何がいけないのか?  
プラスチックを減らしてシンプルに豊かに暮らすにはどうしたらいいのかを  
みんなで一緒に考えたいと思います。



日時 / 令和元年10月20日(日) 13:00~16:00  
場所 / 今治市 大角海浜公園、波方海の交流センター  
対象 / 小学生以上の親子、一般の大人どなたでも  
定員 / 40名  
参加費 / 無料



講師 服部 雄一郎 (はっとり ゆういちろう)

翻訳家。高知在住。  
神奈川県の大磯でごみ担当に配属され、ごみ問題や「ゼロ・ウェイスト」に目覚める。アメリカの大学院に留学し、廃棄物政策を専攻。ごみ NGO の仕事で南インドに滞在。自然に近い暮らしがしたいと5年前に高知に移住。カフェ「ロータスグラノーラ」を営む傍ら、翻訳活動もスタート。

【主な翻訳書】  
『ゼロ・ウェイスト・ホーム』(アノニマ・スタジオ)  
『プラスチック・フリー生活』(NHK 出版)

スケジュール

13:00 大角海浜公園  
大角海浜公園にてビーチクリーン  
& どんごみがあるか調べてみよう!

14:15 波方海の交流センター 二階大会議室  
お話し「プラスチックはなぜいけない?」  
& プラスチックを減らす暮らしの工夫

15:20 波方海の交流センター 二階大会議室  
ワークショップ「みんなで話そうプラなし生活」

16:00 終了

申し込み・お問い合わせ

平野薬局  
今治市北宝来町 2-2-22  
Tel.0898-32-0255 info@hirano-pharmacy.co.jp

ビーチクリーンしまなみ事務局  
今治市片原町 1-100-3 (FM ラチオパリア内)  
Tel.0898-33-0790 radio@baribari789.com

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

平野薬局は SDGs に積極的に取り組んでいます。

# 12 つくる責任 つかう責任

# 14 海の豊かさを 守ろう

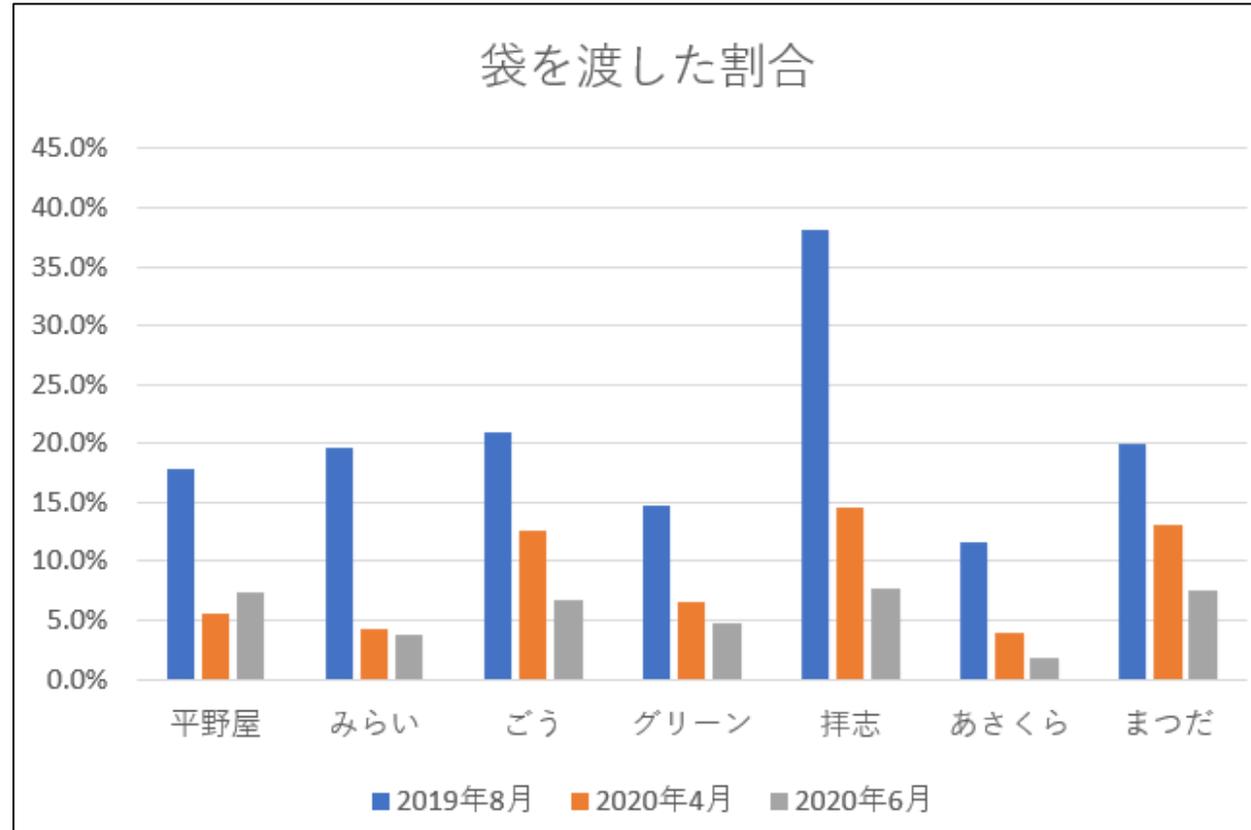


# レジ袋削減の取り組み

2010年 市のレジ袋削減実証実験に参加

20年2月～紙袋に変更

2019/8 : 22% 2020/6 : 6% 2020/7 : 2%



# 環境活動の展開

▶ 「医薬だより」に**エコ**に関する記事を毎月掲載

社員が執筆 2020年**テーマ**は**SDGs**

▶ スタッフブログ Twitter Instagramで

**エコ**情報発信

▶ **地域ESD拠点**としての活動(2020年度)

ビーチクリーンしまなみと共同企画

みつろうラップづくりワークショップ

市立図書館に**SDGs**パネル出展

第384号 医薬だより (1)

正しい知識で正しい治療 **平野 医薬だより** 第384号

保険調剤&ヘルスケアで地域の皆様のQOL(生活の質)の向上に貢献します

3 平野製薬 4 平野みらい薬局/平野グリーン薬局  
平野祥志薬局/平野あさくら薬局/平野ごう薬局/まっだ薬局

### 災害対策とSDGs

2019年も地球温暖化との関連が疑われる自然災害が世界規模で増えた1年でした。「気候関連の災害は過去40年で倍以上に増えた」と指摘されることもあり、地球温暖化とそれに伴う災害への対策は世界的な課題になっています。

**災害対策とSDGs**

SDGs(持続可能な開発目標)には災害対策との関連性も明記されています。

●SDGs: コール11「住み続けられるまちづくりを」(ターゲット11.5、11.b)

「災害が起きても回復力が高い安全な都市や居住空間を作る」という目標です。「仙台防災枠組2015-2030」に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行うことを目指しています。

●SDGs: コール1「貧困をなくそう」(ターゲット1.5)

貧困層や脆弱な状況にある人々の強靱性を構築し、気候変動に関連する極端な気象現象や災害への暴露や脆弱性を軽減することを目指しています。貧困と災害の関係については過去に起きた災害でも課題になっています。

**災害時に犠牲になりやすい人**  
「高齢者」「貧困層」「障がい者」

高齢者では身体的な衰えが原因で災害時に逃げ遅れてしまう事例もあります。また、家賃が阪神淡路大震災での生死を分けたという記録も

あります。家賃3万円以下の木造賃貸に被害が集中し、そこに住んでいた多くの単身高齢女性が犠牲になりました。浸水や土砂災害などが起きやすい場所に住居地域があるといった背景もあります。貧困は災害時の犠牲の拡大にもつながってしまうのです。

障がい者については、東日本大震災での犠牲率は健常者の2倍というデータがあります。視覚や聴覚の障害によって情報の入手が困難であったり(情報障害)、また身体障害がある場合は逃げ遅れにつながります。知的障害や精神疾患などの環境適応障害がある場合は危険の感知が困難になり、その後の避難所での集団生活や「初めてのこと」が苦手でパニックになることもあります。

災害の発生そのものを抑えることはできなくても、被害をできるだけ少なくすることはできます。国や自治体が、災害が発生しても住み続けられるような「災害と共生するまちづくり」をすすめていくこと(公助)、立場や境遇に関わらず地域や家族で助け合うこと(共助)、一人ひとりが災害対策をすること(自助)、どれも欠かせませんが、なにより自分が無事であることが「災害への取り組み」につながり、ひいては「SDGsの取り組み」にもつながります。水や食料の備えをする等、すぐにできることから皆さんもぜひ取り組んでみてはいかがでしょうか。

「医薬だより」は製薬保険と環境に配慮して再生紙と植物油インキを使用しています。  
(アドレス) URL <https://www.hirano-pharmacy.co.jp> E-mail: [info@hirano-pharmacy.co.jp](mailto:info@hirano-pharmacy.co.jp)

# 職能(薬局)を生かした組織本来の取組み

## ▶ ポリファーマシーの解消

2020年 511件の残薬調整や重複防止実施

## ▶ 廃棄薬剤の削減 発注システム改訂により

|        |       |       |
|--------|-------|-------|
| 薬剤廃棄金額 | 2019年 | 137万円 |
|        | 2020年 | 57万円  |

## ▶ 薬の適正使用や環境への取組み

小中学生の職場体験学習受入れ

大学生のインターシップ受入れ

高齢者向けの薬の適正化の講演

幼稚園や小中学校の学校薬剤師の活動

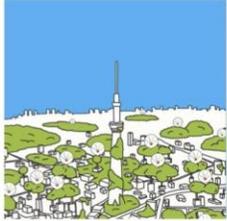


大学生のインターシップ

大学生のインターシップを受け入れ、SDGsについてもレクチャーしました。

# 中小企業家同友会での再エネの取り組み

再生可能エネルギー勉強会&地域エネルギー キックオフの会  
令和2年3月1日(日) 13:00~ @今治じばさんセンター



東京に  
自然エネルギーの森  
をつくろう。

たまエンパワー  
社長BLOG

※原題日本語配信



講師：★山川勇一郎さん★

自然エネルギー100%社会を目指し、地域電力2社を立ち上げる。昨年より農業法人を立ち上げソーラーシェアリングにも携わる。多摩市在住の元ラガーマン。  
・たまエンパワー株式会社 代表取締役  
・東京初の地域新電力「めぐるでんき株式会社」取締役  
・農業法人「さがみこファーム株式会社」代表取締役

地域におけるエネルギーの問題は「漏れバケツ」に例えられます。熱や電気を得るために使われるのは主に石油由来のものであり、輸入されたものです。その分、地域のお金が海外に「漏れ出している」ことになります。もし、それらの輸入をやめて地域に回すことができれば大きな地域循環が生まれることになります。実際に「内子バイオマス発電所」を持つ内子町では年間4億円のお金が還流するようになったと言われています。

そこで、地域エネルギーをさらに推進し地域を元気にするために、再エネ、地域エネルギーの専門家を引き、勉強会を開催します。そしてこの会は単なる勉強会ではありません。これをきっかけに地域エネルギーにとりくむための「キックオフ」ミーティングです。再エネについてしっかりと学び、しるべきステークホルダーが集まり、この日を皮切りに来年度動き始めることのできる体制を作ることを目指します。地域の未来のために、地域エネルギーについて一緒に考えませんか？

日時：令和2年3月1日(日) 13:00~16:30

場所：今治地域地場産業振興センター二階 大会議室

参加費：無料 定員：50名

申込/問合せ：事前申し込みが必要です。一般社団法人をかしや [info@wokasiya.jp](mailto:info@wokasiya.jp) までメールにてお申し込みください。詳細は→ <http://www.wokasiya.jp/blog/>

主催：一般社団法人をかしや 共催：愛媛県中小企業家同友会環境経営委員会

スケジュール 3月1日(日)

| 時間    | 内容                     |
|-------|------------------------|
| 12:30 | 今治地域じばさんセンターにて受付開始     |
| 13:00 | 講演会開始第一部「再生可能エネルギーの基礎」 |
| 14:00 | 講演終了、Q&Aとフリートーク        |
| 14:30 | 第二部「再エネで地域を元気に！」       |
| 15:20 | 講演終了、QA                |
| 15:30 | ワークショップ「～地域電力をはじめよう～」  |
| 16:30 | 終了                     |

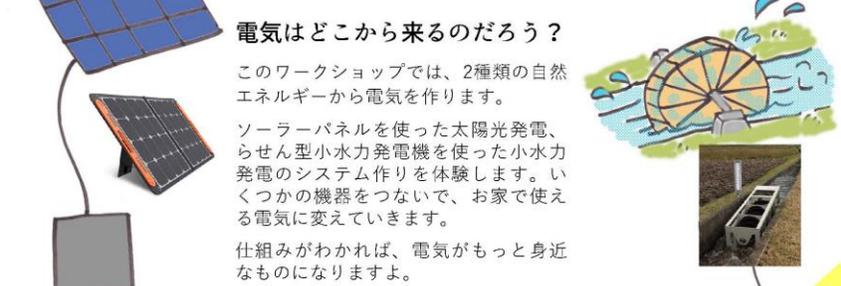
※本事業は三浦保愛基金の助成を受けて実施いたします。



2020年 11月29日(日)  
9:30~16:30  
太陽光 9:30~13:00 小水力 13:00~16:30

7 エネルギー100%社会に向けた取り組み

## 太陽の光と、川の水で電気を作る MINI発電所を作ろう!



電気はどこから来るのだろう？

このワークショップでは、2種類の自然エネルギーから電気を作ります。

ソーラーパネルを使った太陽光発電、らせん型小水力発電機を使った小水力発電のシステム作りを体験します。いくつかの機器をつないで、お家で使える電気に変えていきます。

仕組みがわかれば、電気がもっと身近なものになりますよ。

会場：今治市玉川町鍋地集会所  
対象：小学5年生～一般  
定員：16名  
参加費：無料  
講師：小林 修氏 (愛媛大学国際連携推進機構)  
入岡 利成氏 (キカイ・ジャパン合同会社)

持ち物：マスク、水筒、帽子、タオル、防寒着、お弁当、USBで充電したい小型電子機器

申込問合せ先：一般社団法人をかしや  
[info@wokasiya.jp](mailto:info@wokasiya.jp)  
<http://www.wokasiya.jp/blog/>  
(申込フォームあります)



電気を自分で作る事ができるのか！

どうやって太陽の光や水の流れが電気になるの？



この活動は一般社団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けています。

主催：一般社団法人をかしや

再生可能エネルギー勉強会「ソーラーシェアリング」  
令和2年8月30日(日) 13:00~



講師：★荒木 慎吾★

2013年より再生可能エネルギーによる発電事業と農業を両立する営業型発電事業を開始。2018年からは本格的に農業へ参入し、地域に根差したコミュニティ型IoT農業を推進している。1972年静岡県静岡市生まれ。三姉妹の父。  
・スマートブルー株式会社 専務取締役  
・スマートグリーン株式会社 代表取締役  
・一般社団法人 全国営業型発電協会 理事  
・静岡県中小企業家同友会 静岡支部 地域交流委員会

地域におけるエネルギーの問題は「漏れバケツ」に例えられます。熱や電気を得るために使われるのは主に石油由来のものであり、輸入されたものです。その分、地域のお金が海外に「漏れ出している」ことになります。もし、それらの輸入をやめて地域に回すことができれば大きな地域循環が生まれることになります。

そこで、地域エネルギーをさらに推進し地域を元気にするために、再エネ、地域エネルギーの専門家を引き、勉強会を開催します。今回は、3月に開催した「再エネキックオフミーティング」に続く第二回めです。再エネについてしっかりと学び、しるべきステークホルダーが集まり、今後につながる体制を作ることを目指しています。

地域の未来のために、再生可能エネルギーについて一緒に考えませんか？

日時：令和2年8月30日(日) 13:00~16:30

場所：今治みなと交流センター「はーばりー」みなとホール

〒894-0013 今治市片原町1丁目100番地3

参加費：無料 定員：40名

申込/問合せ：事前申し込みが必要です。一般社団法人をかしや [info@wokasiya.jp](mailto:info@wokasiya.jp) までメールにてお申し込みください。

主催：一般社団法人をかしや 共催：愛媛県中小企業家同友会環境経営委員会

その他：新型コロナウイルス感染防止の観点から、できるだけ3密を避けた形で実施します。手指の消毒、マスク着用にご協力ください

スケジュール 8月30日(日)

| 時間    | 内容                               |
|-------|----------------------------------|
| 12:30 | 今治みなと交流センター「はーばりー」一階みなとホールにて受付開始 |
| 13:00 | 勉強会開始。参加メンバーがお互いを知る時間            |
| 13:15 | 講演第一部「再生可能エネルギーとソーラーシェアリングの今まで」  |
| 14:00 | 講演終了、Q&Aとフリートーク                  |
| 14:30 | 第二部「再生可能エネルギーとソーラーシェアリングのこれから」   |
| 15:20 | 講演終了、QA                          |
| 15:30 | ワークショップ「～ソーラーシェアリングをはじめよう～」      |
| 16:30 | 終了                               |

※本事業は三浦保愛基金の助成を受けて実施いたします。

# 中小企業家同友会での再エネの取り組み

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

再生可能エネルギー  
勉強会 & ワークショップ  
第3回 「地域電力」

11 住み続けられる  
まちづくりを

地域におけるエネルギーの問題は「漏れバケツ」に例えられます。熱や電気を得るために使われるのは主に石油由来のもので、その分地域のお金が海外に「漏れ出して」います。輸入をやめて地域に回せば大きな循環が生まれます。

第3回目の今回は、太陽光発電システムと地域電力の会社を運営される中島さんを、福岡より講師に招き、地域でエネルギーを創ることの意義、出資者や後援者の募り方、今までの苦労話など突っ込んだ話も伺えます。

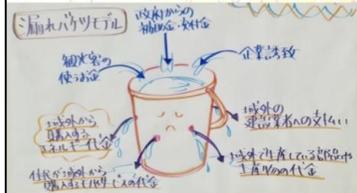
地域の未来のために、  
エネルギーについて一緒に  
考えませんか？

講師：中島 一嘉



地域に対して人一倍  
思い入れがあり、  
「地域みんなが  
ハッピーに」を経営  
理念に掲げ、事業を通  
じた地域貢献を体現し  
ている。太陽光発電  
事業、住宅事業、電力小売事業、トマト栽培を  
中心にしたスマートアグリ事業など、幅広く地  
域で事業を展開している。趣味は孫と遊ぶ事。

- ・株式会社アズマ 代表取締役社長
- ・株式会社やめエネルギー株式会社取締役営業推進部長
- ・福岡県中小企業家同友会入居米支部



令和2年10月18日  
(日) 13:00~  
講演 & ワークショップ

お話を聞き、ワークショップで意  
見を出し合い、今後につながる  
ネットワークを作りましょう。

日時：令和2年10月18日(日) 13:00~16:30  
場所：松山市男女共同参画推進センターコムズ 第5会議室  
〒790-0003 愛媛県松山市三番町6丁目4番地20  
参加費：無料 定員：36名程度 ※zoom参加も可能  
申込/問合せ：メールにて要事前申し込み  
一般社団法人をかしや [info@wokasiva.jp](mailto:info@wokasiva.jp)

主催：一般社団法人をかしや  
共催：愛媛県中小企業家同友会環境経営委員会  
協力：(仮)ローカルSDGs四国  
その他：新型コロナウイルス感染防止のためできるだけ三密を避けた  
形で実施します。手指の消毒、マスク着用にご協力ください

| 時間    | 内容                                   |
|-------|--------------------------------------|
| 12:30 | 「松山市男女共同参画推進センターコムズ」第5会議室にて受付開始      |
| 13:00 | 勉強会開始。参加メンバーがお互いを知る時間                |
| 13:15 | 講演第一部「自分のエネルギーは自分で創る！エネルギーの自給自足」     |
| 14:00 | 講演終了、Q&Aとフリートーク                      |
| 14:30 | 第二部「地域でつくるみんなの電力(株)アズマとやめエネルギーの取り組み」 |
| 15:20 | 講演終了、QA                              |
| 15:30 | ワークショップ「～地域電力をはじめよう～」                |
| 16:30 | 終了                                   |

※本事業は三浦保愛基金の助成を受けて実施いたします

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

再生可能エネルギー勉強会  
& ワークショップ第4回  
「地域振興と地域電力」

11 住み続けられる  
まちづくりを

地域におけるエネルギーの問題は「漏れバケツ」に例えられます。熱や電気を得るために使われるのは主に石油由来のもので、その分地域のお金が海外に「漏れ出して」います。輸入をやめて地域に回せば大きな循環が生まれます。

第4回目の今回は、愛知県豊田市にて地域電力事業を手がける平沼さんを講師にお招きします。豊田市、一般社団法人、中部電力が連携し、新電力会社を作り売電収益を地域振興に使う事例をお聞きし、四国のこれらを考えます。

地域の未来のために、  
エネルギーについて一緒に  
考えませんか？

講師：平沼辰雄



1952年7月5日生まれ。大学  
卒業後平沼建設入社、総合解体業  
を環境配慮型に転換し、復元を意  
味する「リバイブ」に社名変更。  
2012年の「おひさま自然エネル  
ギー(株)」の設立を皮切りに新城  
自然エネルギー(株)代表取締役、  
(一社)三河の山里課題解決ファーム理事、営農発  
電合資会社 業務執行社員代表などを歴任。再生可能  
エネルギーと、地域電力を通じた地域振興のエキス  
パート。

- ・株式会社リバイブ代表取締役 会長
- ・一般社団法人三河の山里課題解決ファーム 理事
- ・中小企業家同友会全国協議会 前 地球環境委員長



令和2年12月6日  
(日) 13:00~  
講演 & ワークショップ

お話を聞き、ワークショップで意  
見を出し合い、今後につながる  
ネットワークを作りましょう。

日時：令和2年12月6日(日) 13:00~16:30  
場所：二番町ホール  
〒790-0002 松山市二番町3丁目8-21 久保豊二番町ビル3F  
参加費：無料 定員：30名程度 ※zoom参加も大歓迎！  
申込/問合せ：メールにて要事前申し込み  
一般社団法人をかしや [info@wokasiva.jp](mailto:info@wokasiva.jp)

主催：一般社団法人をかしや  
共催：愛媛県中小企業家同友会環境経営委員会  
協力：ローカルSDGs四国  
その他：新型コロナウイルス感染防止のためできるだけ三密を避けた  
形で実施します。手指の消毒、マスク着用にご協力ください

| 時間    | 内容                            |
|-------|-------------------------------|
| 12:30 | 「二番町ホール」にて受付開始                |
| 13:00 | 勉強会開始。参加メンバーがお互いを知る時間         |
| 13:15 | 講演第一部「(株)三河の山里コミュニティパワー」の取り組み |
| 14:00 | 講演終了、Q&Aとフリートーク               |
| 14:30 | 第二部「地域振興と地域電力 三者協定で地域をハッピーに！」 |
| 15:15 | 講演終了、QA                       |
| 15:30 | ワークショップ「～地域電力をはじめよう～」         |
| 16:30 | 終了                            |

※本事業は三浦保愛基金の助成を受けて実施いたします

# パートナーシップでさらなる広がりを！

- 愛媛大学、松山市SDGs推進協
- 環境省、LS四国
- 四国経済産業局、地域金融
- 日本環境教育フォーラム等

広域ネット  
ワーク

株式会社  
平野

- SDGs 3番を中心とした本業での取り組み
- かんきょう広場
- 3薬局に太陽光パネル



- 地域FM、今治西高
- シクロツーリズムしまなみ等のNPO
- タオル工業組合、今治ユネスコ協会、今治市役所、

地域の人々

中小企業家  
同友会



- 県環境経営委員会・四国ブロック・全国協議会
- 学習・先進事例の水平展開
- 企業間連携で仕事づくり

# 2030年像 (バックキャストिंग)

- 脱炭素社会 パリ協定 1.5°C以下
- SDGs 17ゴール169ターゲット  
SDGsコンパス
- ESDfor2030

- SDGs 3~予防院 薬減らす  
学ぶ薬局 ジェンダー平等
- ESD活動推進拠点
- REアクション Ecoストア

四国・日本

株式会社

世界

平野

愛媛・今治

中小企業家  
同友会



- SDGsスクール FTタウン
- しまなみ海道シクロツーリズム
- 産学官NPO/NGO金の連携で若者が  
残る街

- 四国内環境経営1千社 (RE  
アクション400社)
- 中小企業振興基本条例
- 営農型発電等RE 8 8ヶ所